

町田市議会議員・ネット発信NO. 1

吉田つとむ

ユーチューブ動画 860 万回再生を突破

1000万回再生を目標に
吉田つとむ発見動画チャンネル

マルチメディアの
双方向情報発信を続ける



ジャパニーズフーズ本社
工場（福岡市）の視察見学

2024 年 10 月 9 日、株式会社 ジャパニーズフーズの本社工場（福岡市）の見学をさせていただきました。その報告と会社の概要紹介と見学のレポートを以下に記載しました。

＜会社の概要に関して、話を聞き、パンフ類を読み込み、一定の感想も加えました＞

株式会社 ジャパニーズフーズは、福岡市に本社を置く水産加工業の独立系地場企業です。特徴は、鰺と鯖の加工生食品製造に特化しており、1987 年（昭和 62 年）の設立と報告されています。

会社の経営理念には、「私たちは鰺と鯖で世界の人々を健康にし、豊かな食生活を創造していきます。」と掲げられています。関東の食文化とは違った、魚の主役が生の青物という福岡を中心とした北九州の食文化を背景にして成長していこうという企業理念を持っているのではないのでしょうか。



もちろん、関東でも季節的には秋刀魚を好んで食べますので、鰺鯖の新鮮さを保ってどのように提供できるか、技術化するかを多面的に実現することで、この株式会社 ジャパニーズフーズの理念が全国に知れ渡る時代になるのではないのでしょうか。

機械は自動、手作業も多い

創業した井上会長の案内で工場内を巡る

事業の主体は自社工場で加工した鰺鯖のフイーレ（3 枚におろした魚）を冷蔵して量販店への卸売と寿司業界への販売ですが、他に、「鰺本舗」というネット通販部門も有しており、鰺鯖の刺身を伴ったお茶漬けなどの直販を行っています。こちらは冷凍食品による出荷とされていました。



訪問先は工場であり、製品を買う企業（量販店のバイヤー）にすれば、どのような工場で作られているのか、どのような人が働いているのか、安全管理は十分か。それらを十分に納得して取引するものです。私が訪問した際にも、工場で働く人が明るく挨拶をしてくれました。経営者の考え方が、現場にも徹底している様子がうかがえました。

実際の事業を見ると、株式会社 ジャパニーズフーズは関東地区にも営業所を置いて、幅広く事業を展開し、その商品（生食用鰺鯖加工品）をスーパー（量販店）に幅広く提供し、また、寿司のチェーン店にも提供しているとのことでした。＊この点、本社工場の訪問見学に先立ち、2024 年 9 月 19 日、関東営業所を取材訪問し、その記事を同行した研修生のインターン体験記として、このレポートの中面に掲載しています。

◎町田市議会は定数 36 名（1 名が任期途中で退職し、現在は 35 名）。大多数はそれぞれの会派に所属します。吉田つとむは、「無所属」という 3 名の会派に所属しています。議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人単位で行います。

その「無所属」会派の 3 名は、議案の採決において、自由に賛否を決める場合があります。

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員（4 期連続トップ当選）

＜編集発行＞

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361(fax 兼用)
市議会議員 吉田つとむ
yoshidaben@gmail.com



決算意見：市民税負担の考え方の背景

5 年齢ごとの市民税負担数値が資料請求で公表

これまで一般質問で、年齢別納税状況の開示を求めてきましたが、今回の決算審査において、5 年齢ごとの数値が資料請求の方法で回答されたもので、町田市では初めて公開された数値でした。



写真はバス旅行で訪ねた伊豆の土肥金山

質疑では、（1）20－24 歳で納税義務者割合が 3 分の 1 以下なのは、学生の世代が 20－22 歳で相当数を占めているためと理解してよいか。それを証明する手段はあるか。→年齢別で表示すると、それを発見できるか。（2）55－59 歳の個人市民税額が最高の 207750 円を示し、50－54 歳の 178124 円より、60－64 歳が 186366 円と高い理由はこの年代層の就業が相当あるとみなしてよいか。（3）65－69 歳の個人市民税額が 151244 円で、40－44 歳の 153063 円に相当し、それ以下の 35－39 歳 128756 円、30－34 歳 111033 円、25－29 歳 92061 円より上回っている。また 65－69 歳の納税者比率も 59.6%を示しており、相当数が納税しているが、それは大半が就業による収入とみなしてよいか。なお、70－74 歳 46.4%、75－79 歳 42.9%の納税者比率となっている。世間で思われているより、納税者比率が高いようだが、と尋ねる。

答弁では、納税額は勤労収入だけでなく、金利や家賃収入もありうることで、一概には言えないと言ったものですが、高齢者の半数近くの納税者は、若い世代、子育て世代に匹敵するか、それ以上に市民税を納めていることが分かりました。

タブレット端末はどこが負担するべきか

自前でやるべきは町田市で行うべきと主張

議員提出議案第 25 号＝公立小中学校で使用されるタブレット端末の整備・更新における市区町村の財政的・事務的負担の軽減を求める意見書 に対する「反対討論」を行いました。この議案には、自民党からも別の考えで反対討論があり、可否同数となりました。議長裁決となり、結果は否決でした。

公立小中学校で使用されるタブレット端末の更新に関して、国と市区町村がその負担を分け合っていることに関し、これをネット時代の教科書視聴ツールとみなすならば、デジタル教科書の導入普及も合わせて、教科書の無償配布の考えに基づき、タブレット端末の購入・リースを全額国費とするべきという考え方があり、それが妥当かも知れないと考えています。ただし、現実にはペーパーの教科書が無償化されている段階で、デジタル教科書はまだまだです。そうしたこともあつてか、先日の質疑でも明らかのように、町田市は、デジタル教科書を児童生徒に一般使用を普及する段階に至っていません。

今後のことを考えるならば、町田市はデジタル教科書導入、ネット教育を自前で普及することが先行する課題と考えています。そうした上で、町田市はできるだけ自前で対応し、東京都に求めるべきは求める観点に切り替える時期だと考える次第ですと主張しました。



◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう！

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和 4 年 2 月実施の市議会議員選挙で、4 期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP

メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、第55期生を募集予定

インターン体験記⑥ 佐々木 瑛

高校教育と中学生の受け入れ体制について

とある高校にお邪魔して、高等教育で重要になっている点を伺いました。高校は勉強だけでなく、社会に出て自分が何をやりたいかについて考える重要な時期です。そのため、高校生のうちに社会に出て働いている人を見るという経験をしておくと、自分の将来についてより具体的に考えることができます。

今回私がお伺いした高校では、キャリア教育に重点を置き、高校一年次から職について学ぶ機会が多く設定されているとのことでした。たとえば、実際に企業で働いている人を高校に招いて仕事について学ぶことができます。また、夏休み期間の課題として自分の興味のある仕事について調べ学習があるそうです。自分の将来について調べたり、現場の人の声を聞けたり、自分の将来について調べたりすることで、自分は何をしたいか、働くとはどういうことなのかということを深く考えることができると思います。

自分がこれから何をを目指していきたいのか決まっていらない人は多くいると思います。しかし大学受験をするとすると大学は学部で分けられるため自分の将来の方向性がある程度制限されかねません。そのため高校一年生という早い段階から多種多様な職業に触れられる取り組みは生徒の未来にとって非常に大きな意味を持つと感じました。



東京学芸大学2年生 佐々木 瑛(第54期生)

インターン体験記⑦ 佐々木 瑛

天才キッズクラブの子どもたち

新百合ヶ丘にある、天才キッズクラブという保育園に行き、そこで過ごす子どもたちの様子を拝見させて頂きました。ここで言う「天才」というのは、「天」から授かった「才」能を引き出す、ということを目指すということでした。そこで圧倒されたのは子どもたちの身体能力です。彼らは逆立ち、ブリッジだけでなく、逆立ち歩きや手を交互に床につく片手逆立ち、ブリッジ回転、ブリッジ歩きをいとも簡単に成し遂げていました。これらは私には到底出来ませんし、何よりやってみようとするさへ怖いと思って、できないことです。そんな私とは対照的に、子どもたちは自らそのような大技を笑顔で楽しんでやっていました。

このような子どもたちの「天才」性には、指導する側の先生の工夫がありました。主にそれは環境です。保育園内の空間は教室ではっきり区切られていないため、他の年齢の子どもたちの活動を見ることが出来ます。そのため普段からブリッジや逆立ちを楽しくやっている年上のお兄さんお姉さんを見ることが出来るのです。それを幼少期から見ているため、私からは大技に見える技に対する抵抗や恐怖心がなくなり、むしろ好奇心が湧くのだそうです。また、先生は子どもたちの中でいちばん頑張っていたチャンピオンを毎回の活動ごとに決め、それに対してみんなで「おめでとう！」と声をかける時間があります。「頑張る」ことの基準を設定せず、子どもたちのそれぞれの良さを見て決めるので全員の子が何らかのチャンピオンに選ばれます。誰も取りこぼさないようチャンピオンを決めみんなで褒め合うことで、子どもたちの協調性や成功体験を養うことができるのです。

幼少期の成功体験はその先の自己肯定に繋がります。そのため小さい頃から子どもの枠を外し、自分の持っている力を引き出せるような声掛けや環境を作っていくことが重要であると学びました。加えて、ここで培った能力や自己肯定感を小学校でさらに伸ばしていけるような教育の在り方を今後探究していく必要性を感じました。*施設内部の撮影は全て許可を得ています。



◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2024年9月末までに109名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎次回のインターンシップは、2025年春季募集で2024年11月より広報開始しました。

インターンシップで若者育成の貢献
町田市議・完全無所属・良識ある保守

吉田つとむ



好評インターンシップは、欠かさずに続いている

インターン体験記⑨西條菜々美

町田保健所保健衛生課を訪問

本日のインターンシップでは町田市保健所保健衛生課を訪問し、課長と食品衛生係の方から貴重な知識を得ることができました。食品衛生管理者、食品衛生監視員、食品衛生責任者のそれぞれの役割や特徴について詳しく教えていただきました。食品衛生管理者は、食品の製造や加工の現場で衛生管理を行い、食品衛生監視員は、食品の安全性を確保するために監視や指導を行います。食品衛生責任者は、飲食店などで衛生管理を担当します。

また、食中毒の原因菌や寄生虫についても学びました。例えば、サルモネラ菌やカンピロバクター、ノロウイルスなどが食中毒の主な原因となることを知りました。これらの知識は、食品の安全性を確保するために非常に重要です。

私の所属する食安全マネジメント学科では、食品衛生管理者と食品衛生監視員の資格が取得できるため、将来のキャリアに活かす選択肢が広がりました。このインターンシップを通じて、食品衛生の重要性を再認識し、今後の学びに対する意欲がさらに高まりました。



昭和女子大学3年生 西條 菜々美(第54期生)

◎吉田つとむのインターンシップは、参加者との個別対応が特徴です。

◎吉田つとむのインターンシップは、社会人になった先輩インターン生との直接面談が大好評です。

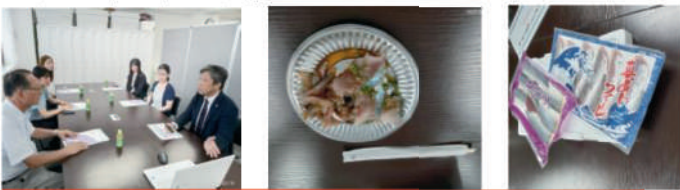
◎吉田つとむの元インターン生は、一般企業就職が最大で、次いで公務員。弁護士が3人。

インターン体験記⑧蛭田 咲菜

生食のアジサバの加工食品に特化したジャパンシーフーズ

今回は、株式会社ジャパンシーフーズ様の関東営業所を訪問させて頂き、合屋所長や担当者様から丁寧な説明をいただきました。ジャパンシーフーズでは、主にアジ、サバの生食用の業務用品の製造と販売を行っています。業務用品とは、そのまま店頭で販売されるのではなくスーパーなどの店舗のバックヤードや厨房で商品化されることを前提とした商品のことを指します。つまり、店舗を裏から支える縁の下の力持ち的な存在なのです。また、その売り上げ構成はアジが70%、サバが30%であり、特にアジに特化した会社といえます。ではなぜ、アジにこだわっているのでしょうか。アジは比較的、1年を通して安定した水揚げがあり、持続可能な資源量であると言えます。また、小型で身質が強く、偏向性が小さいことから機械で全加工をすることができる形体と言えます。それに加え、安価で食卓に乗りやすい日常消費食品であることから、需要の安定性が高いと言えます。こうしたアジの専門性を高め、NO.1市場の地位を守る事は市場で生き残るために重要な事なのです。

実際に売られている商品の試食もさせて頂きました。醤油ではなく、刺身用のタレで食べる事を想定した商品であり、タレの味によって季節感を演出していることが分かりました。また、刺身独特の生臭さを軽減できるため、生魚が苦手な人でも刺身を食べやすくし、魚食離れの改善にも大きく貢献しています。この高い商品開発力によって、サバやアジの魅力を世の中に発信しているのだと考えました。



昭和女子大学3年生 蛭田 咲菜(第54期)